

食品安全関係情報( 10月12日～11月1日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

10月12日～11月1日 収集件数(合計109/145件) (前回 9月28日～10月11日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (8/5件)	米国 (7/13件)	カナダ (2/1件)	EU、EFSA (34/52件)	各国 (17/27件)	FSANZ等 (5/7件)	中国 (7/5件)	各国 (11/4件)	各国 (0/1件)	報道、論文等も含む (18/30件)
化学物質 (35/63件)	化学物質・汚染物質 (2件)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	食品添加物 (11)	0	0	1	9	1	0	0	0	0	0
	農薬 (11)	1	0	0	5	2	1	0	1	0	1
	動物用医薬品 (6)	0	0	0	3	1	1	0	1	0	0
	器具・容器包装 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	その他 (3)	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (39/39件)	細菌 (15件)	0	4	1	1	3	1	2	0	0	3
	ウイルス (8)	2	1	0	1	0	0	1	1	0	2
	原虫・寄生虫 (3)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (3)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	動物性自然毒 (2)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
その他 (4)	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
新食品等 (4/12件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (2)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	健康食品 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肥料・飼料等 (8/8件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (8)	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0
その他 (23/23件)	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示 (2件)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	放射性物質 (3)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
海外の食中毒 (0/0件)	その他 (18)	1	0	0	3	4	1	2	5	0	2
	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
表示違反 (0)	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

## 食品安全関係情報(10月12日～11月1日収集分109件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

### 【化学物質】

- ・香港食物環境衛生署食物安全センター、香港の飲食店等で提供されるコーヒー及びミルクティー中のカフェイン含有量に関する調査結果を公表

### 【微生物・プリオン・自然毒】

- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、旋毛虫(トリヒナ)及び無鉤条虫/牛囊虫のリスクプロファイル概要を公表
- ・米国疾病管理予防センター(CDC)、鶏肉が原因とみられるSalmonella Heidelbergによる集団感染情報を発表
- ・米国食品安全検査局(FSIS)、リステリア症による公衆衛生負荷を軽減するための共同研究書を発表
- ・欧州連合(EU)、魚介類を発酵させて生産した魚醤に含まれるヒスタミンの基準値を新たに設定
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、食品及び飼料中のトロパンアルカロイド類(TAs)に関する科学的意見書を公表
- ・オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、「包装済み非加熱喫食用スライス肉製品中のリステリア・モノサイトゲネスの調査」報告書を公表

### 【その他】

- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、国際食品安全当局ネットワーク(INFOSAN)の2011～2012年活動報告書を公表
- ・英国保健省(DH)、英国国民の食事の飽和脂肪酸を大幅に低減する取り組みを発表
- ・台湾衛生福利部食品薬物管理署、大統長基食品廠股份有限公司の「100%エキストラバージンオイル」にその他の油脂が混ぜられ、銅葉緑素が違法に添加されていた疑いがある旨公表